

# 森林環境学習実施報告 No.1

## ～ の「カタクリ」観察～

町立 小学校 第4学年

### 1 目的

学区内「桑取火」地区に群生する「カタクリ」を観察し、カタクリの植生が森林の植生と密接に関係していることに気づき、 の森林資源の豊かさを感じることができる。

2 対象学年 小学校 第4学年 16名

3 期日・時間 平成29年4月25日(火) 13:30～15:30

4 場所 地区

5 講師 先生

### 6 活動の概要



○ 先生からカタクリの花が林のどんな場所を好むのかについて話を聞く児童



○ カタクリの花の咲き方や昔は根からデンブンを取っていたこと、近くに生えている「ならの木」等の雑木について教えてもらう。

○ 山野草について話を聞く児童

◎ カタクリの可愛らしい花が雑木林の北の斜面に生えていた。児童は、8年かけてやっと花が咲くことや、保護をしながら地区で群生地を増やしていることを知ることができた。また、カタクリの植生が好む環境が雑木林のどんな場所なのか、一つ一つの植物はそれぞれ特有の性質を持っていることを知り、感心していた。

◎ 時期が早く桜は咲いていなかったが「 の山桜」について、昔の人々が農作業の目印として切らずに残したという話を聞き、驚いていた。